

平成 20 年 12 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 4 月 23 日

上場会社名 株式会社 レッグス 上場取引所 JQ
 コード番号 4286 URL <http://www.legs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内川 淳一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員マネジメント部長 (氏名) 堀 康夫 TEL (03) 3408-3090

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 12 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年12月期第1四半期	2,092	△3.2	134	△43.8	132	△44.9	72	△46.8
19年12月期第1四半期	2,161	20.0	238	110.7	240	108.2	136	125.7
19年12月期	7,771	—	551	—	548	—	192	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年12月期第1四半期	2,801	30	2,783	75
19年12月期第1四半期	5,206	89	5,156	59
19年12月期	7,377	78	7,311	04

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年12月期第1四半期	3,918		2,523		64.3	97,509	18	
19年12月期第1四半期	3,796		2,472		65.1	94,545	76	
19年12月期	3,469		2,488		71.7	96,209	13	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年12月期	—	—	1,500	00	1,500	00
20年12月期(実績)	—	—	—	—		
20年12月期(予想)	—	—	1,700	00	1,700	00

3. 平成 20 年 12 月期の連結業績予想 (平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	3,929	2.0	133	△58.5	132	△59.5	59	△41.3	2,284	73
通期	8,700	12.0	402	△26.9	401	△26.8	211	10.2	8,197	57

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4 ページ「【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）問題の影響等により、企業の景況感悪化が鮮明になったという見方もある一方で、景気は踊り場に入ったものの、企業の設備投資や雇用に過剰感がないので、実体経済の景気後退は回避できるとの見方もあり、日本経済の先行きは依然不透明な状況です。

当社グループが属する広告・販促業界においても、北京オリンピック、北海道洞爺湖サミット等のプラス要因があるものの、これまで成長を牽引してきた輸出と企業設備投資が前述の米国経済の減速の影響等により停滞し、これら企業の景況感悪化に伴う販促費削減の動き等の懸念も出てきており、広告・販促業界の先行きについても不透明感がますます強まりつつあります。

このような状況下、当社グループでは、中期経営計画において策定した市場戦略において、これまでの戦略市場である飲料・食品・流通及び通信業界を中心とする既存顧客の深掘りに加え、新たな業界向けでの新規顧客開拓と、昨今の顧客の販促ニーズの変化を捉えた電子POP等の新規商材の提供等により、戦略市場及び提供サービスの幅をひとつひとつ広げるべく積極的な事業展開をまいりました。

当第1四半期における当社グループの連結での経営成績については、まず売上高に関しては、商品企画事業でのOEM顧客向け及びマーケティングサービス事業での流通顧客向け等が好調だったものの、マーケティングサービス事業の飲料顧客向けの落ち込みにより、前年同期比で減収となりました。売上総利益に関しては、前年同期実績のOEM顧客向け高利益率案件が、当期はなかったこと等により、売上総利益率は前年同期比で低下し、ほぼこれまでの通年のレベルに収束しております。営業利益に関しては、前述の売上総利益率の低下と人件費増による販売費及び一般管理費の増加により前年同期比で低下しております。

これらの結果、当第1四半期の売上高は2,092百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益134百万円（同43.8%減）、経常利益132百万円（同44.9%減）、四半期純利益72百万円（同46.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の総資産は、前連結会計年度末と比較して448百万円増加して3,918百万円となりました。

流動資産につきましては、おもに現金及び預金が137百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が494百万円、たな卸資産が50百万円、その他の流動資産が23百万円増加し、結果、前連結会計年度末と比較して430百万円増加しております。

固定資産につきましては、有形固定資産が1百万円、無形固定資産が1百万円減少したものの、おもに、投資有価証券が17百万円、投資その他の資産の「その他」が3百万円増加したことにより前連結会計年度末と比較して18百万円増加しております。

負債につきましては、流動負債においてその他流動負債が148百万円減少したものの、おもに買掛金が559百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して413百万円増加しております。

純資産につきましては、おもに利益剰余金の計上、配当金の支払いなどの結果、前連結会計年度末と比較して34百万円増加しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年2月26日に発表の中間期および通期の連結業績予想につきましては、現時点での受注残が5月以降不透明なことから、第2四半期以降の経費負担増を見込んでいるため現時点では変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他一部に簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	1,145,857	1,061,110	△84,747	△7.4	1,198,528
2. 受取手形及び売掛金	1,983,423	2,093,639	110,215	5.6	1,599,325
3. たな卸資産	174,484	160,310	△14,173	△8.1	110,243
4. その他	51,299	69,424	18,124	35.3	46,347
貸倒引当金	△4,456	△1,858	2,598	△58.3	△1,836
流動資産合計	3,350,608	3,382,626	32,017	1.0	2,952,606
II 固定資産					
1. 有形固定資産	28,581	46,288	17,707	62.0	47,895
2. 無形固定資産	24,788	15,050	△9,737	△39.3	16,433
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	96,916	204,228	107,312	110.7	186,870
(2) その他	348,951	318,627	△30,323	△8.7	315,274
貸倒引当金	△53,658	△48,264	5,393	△10.1	△49,170
投資その他の資産合計	392,209	474,592	82,382	21.0	452,974
固定資産合計	445,579	535,931	90,351	20.3	517,303
資産合計	3,796,188	3,918,557	122,369	3.2	3,469,910
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	830,248	901,635	71,386	8.6	342,183
2. その他	223,170	213,334	△9,835	△4.4	361,941
流動負債合計	1,053,419	1,114,970	61,551	5.8	704,124
II 固定負債					
1. 長期未払金	208,143	208,143	—	—	208,143
2. 退職給付引当金	61,819	71,681	9,862	16.0	68,663
固定負債合計	269,963	279,825	9,862	3.7	276,807
負債合計	1,323,382	1,394,796	71,414	5.4	980,932

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年12月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年12月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年12月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	220,562	220,562	—	—	220,562
2. 資本剰余金	267,987	267,987	—	—	267,987
3. 利益剰余金	2,030,219	2,120,066	89,847	4.4	2,086,429
4. 自己株式	△48,000	△87,055	△39,055	81.4	△87,055
株主資本合計	2,470,769	2,521,561	50,792	2.1	2,487,924
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	1,034	△1,046	△2,081	—	△1,014
評価・換算差額等合計	1,034	△1,046	△2,081	—	△1,014
III 新株予約権					
	—	2,048	2,048	—	1,128
IV 少数株主持分					
	1,001	1,197	196	19.6	940
純資産合計	2,472,806	2,523,761	50,955	2.1	2,488,978
負債、純資産合計	3,796,188	3,918,557	122,369	3.2	3,469,910

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年12月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年12月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	2,161,565	2,092,267	△69,298	△3.2	7,771,190
II 売上原価	1,656,046	1,672,227	16,181	1.0	6,045,766
売上総利益	505,518	420,039	△85,479	△16.9	1,725,424
III 販売費及び一般管理費	266,821	285,942	19,121	7.2	1,174,321
営業利益	238,696	134,096	△104,600	△43.8	551,102
IV 営業外収益	3,130	1,431	△1,698	△54.3	10,656
V 営業外費用	1,043	2,836	1,793	171.9	13,316
経常利益	240,783	132,691	△108,091	△44.9	548,441
VI 特別利益	575	884	308	53.7	8,468
VII 特別損失	—	2,079	2,079	—	32,192
税金等調整前四半期(当期)純利益	241,358	131,496	△109,862	△45.5	524,717
法人税、住民税及び事業税	121,645	60,792	△60,852	△50.0	270,180
法人税等調整額	△16,353	△1,964	14,389	△88.0	62,322
少数株主利益または少数株主損失(△)	△61	257	319	—	△123
四半期(当期)純利益	136,128	72,410	△63,718	△46.8	192,338